

資源循環社会へ向けて挑戦



菅原産業 代表取締役
すがはら のりかず
菅原 則和 氏

◎出身校

大村工業高校

◎2026年の目標を漢字一文字で

「整」組織、環境を整える。プライベートでも自分磨きをしたい

◎趣味

スポーツ観戦、アップサイクル

1984年に父が創業し、一般家庭から出るごみの廃棄物回収からスタートしました。現在は、産業廃棄物やリサイクルまで幅広く対応しています。業界全体では、担い手不足などの要因で再編期を迎えています。当社は単なる廃棄物処理業者から脱却し、資源循環型社会の実現に向けた新たな価値創造に挑戦しています。

昨年8月には、コミュニティスペース「SeaM」(シーメット)エコベースを諫早市多良見町に開設。海物から山の物まで後世に残すという願いを込めています。ペットボトルキャップから、アクセサリーなどを作るアップサイクル体験やカフェ機能も一体化している点が特徴です。今年も積極的にイベントを開き、ファンを増やしたいですね。

産業廃棄物処理事業では、自分たちだけの利益を考えず、買い取れるものは徹底的に買い取ります。また、お客様から回収したごみの重量を月次でお示しできることは、他社に負けない強みです。減量化に役立つだけでなく、自社が出す二酸化炭素の量を知ることが、カーボンニュートラルへの貢献のために必要な対策を検討するうえで欠かせません。

何をすることも最も大事なものは「人」なので、「菅原産業で働くこと楽しい」という風土を作りたいです。

昨年にも続き、4月に新卒の内定も決まっております。会社の若返りはどんどん続けていきたいと思っております。若い人たちの考えを大事にし、会社が変わっていかねければならない。社員一人一人の特技を伸ばしながら、事業に反映させ、基盤を整えていく年にしたいです。



ペットボトルキャップから制作したアクセサリなど

